

平成 23 年 10 月 4 日
原子力政策担当室

研究開発の実施にあたっての基本姿勢について

これまでの専門部会の意見を踏まえ、中長期的措置における研究開発の実施にあたっての基本的姿勢として以下のとおり整理した。

① 効率的に進めること

- ・ 時間と資源の削減を図るため、既存データや知見を最大限利用すること。特に TMI 等の過去の類似実績の知見を有する海外の技術者の助言を積極的に得ること。
- ・ 国内外の高い技術性を持つものについては、積極的にそれらを獲得し利用すること。
- ・ 現場作業に手戻りが無いよう事前にモックアップ試験を実施すること。

② 現場に即したものにすること

- ・ 適用する要素技術については、現場調査の結果を反映しながら、固定した対策のイメージを常に修正しながら最新の判断を行うという、分析+判断の対応を基本とすること。
- ・ 計画した方策がうまくいかない場合は臨機応変に対応できるよう、代替方策については常に準備的考察や、合理的に考えられる範囲での設備的な対応も考慮すること。

③ 優先順位を意識すること

- ・ 実際の現場作業に必要な研究や開発を優先すること。技術高度化のための研究や開発は、現場作業の開始を確実にした上で、並行して進めること。

④ 人材育成に資するようにすること

- ・ 研究開発を通して技術者と国内の技術力の育成につなげ、長期プロジェクトを成功に導くための礎となるようにすること。